

第2回長沼町学校づくり検討委員会会議 会議録

I. 日 時	令和5年9月28日（木） 18:00~20:00
II. 場 所	長沼町役場 3階 第1・2会議室
III. 参集者	委 員 12名 事務局 6名
IV. 議事内容	
1. 開 会	高羅委員長
2. 議 題	高羅委員長が議長となり議事を進行。 （1）義務教育学校にかかる先進事例の紹介について 事務局の概要説明の後により説明。 （2）新しい学校づくりにかかる各アンケート実施結果及び各ワークショップでの意見について 事務局より資料に基づき説明。 （3）基本設計の素案について 事務局の概要説明の後に設計会社より説明。 素案資料を基に検討し、概ねB案を軸として進めていく旨、ご意見をいただく。 （4）次回開催日について 事務局より次回開催日については、仮日程として10月27日（金）18:00で開催することを予定しており、正式な通知は調整次第、追って連絡する旨説明。
3. その他	議会特別委員会での意見について 事務局より議会特別委員会での意見について説明。 ※一部の議員より、前回の配置検討においてB案が良いのではないかとの意見や総合公園での建設について意見があったことを報告。今後も検討委員会と議会の意見を双方向で共有しながら進めていくことを説明。 事務局より学校づくり検討委員会だよりの配布等について説明。 （全員了承）
4. 閉 会	高羅委員長

以上

■各議題にかかる質疑応答一覧

○議題（１）義務教育学校にかかる先進事例の紹介について

※質疑なし

○議題（２）新しい学校づくりにかかる各アンケート実施結果及び各ワークショップでの意見について

検討委員：3Pにワークショップの結果が記載されており、②教職員のワークショップは参加者が60名とあるが、教職員が60名ということか。

事務局：そのとおりである。

検討委員：アンケート結果では35名となっている。アンケートは50%程度の回答しかなかったということか。

事務局：そのとおりである。

検討委員：補足であるがアンケート結果は50%であるが、意見についてはワークショップで反映させている。

○議題（３）基本設計の素案について

検討委員：前回、校舎の配置でAからD案が示されて、町民会館を壊すとか民有地を取得するかわからないがD案で検討しながら進めて行くとのことであったが、D案で決まりということなのか。用地を取得したのか。町民会館を壊すことは決定したということなのか。

事務局：前回AからD案をお示しした。その中でポイントは町民会館を壊すことと土地を購入することであった。教育委員会としては土地はなるべく広く活用したい。基本構想の中でも示しており面積もとれる。これで全部進むというものではなくて、あくまでD案に基づいて、今考えられる次のステップとしてご提案させていただいているものである。

検討委員：図面では配置はわかるが、どのくらいの広さなのかわからない。とうべつ学園は広大な土地であったが、長沼では限られた土地での建設となる。体育館はどの程度の大きさになるのか、教室はどの程度の広さになるのか、教えてほしい。

事務局：体育館の広さについては、概ねスポーツセンター程度で整理する計画となっている。教室は現状64㎡で、新しい学校では68㎡で検討しており、新しい規格の机が入ることを想定している。全体の面積は、現在の小学校・中学校の校舎は、ともに正確な数字ではお示しできないが、各5,500㎡なので、合計すると新校舎は10,500㎡を想定している。特別教室は人数に応じて検討していく。サブアリーナについては、町民会館の大集会室と同程度のものを考えている。

検討委員：とうべつ学園と比較するとどのくらいの差なのか。

日建設計：全体で見ますと当別が10,000㎡より小さいが、子どもたちでいうと700人で当別の方が多い。（※後ほど訂正）

検討委員：今更ですが、配膳エリアがあるということは自校給食は考えていないと

いうことでよろしいんですね。

事務局：給食センターについては、この中で作るという計画はしていない。今ある給食センターが古くなってきているが、給食センターから配膳することを考えている。

検討委員：給食の話が出たが、スクールランチなどのアンケートも実施していたと思う。私は東京の小学校に通っていた頃、校内に給食センターがあった。給食センターの老朽化もあるので、新校舎に盛り込むことはできないのか。

事務局：給食センターについては、この敷地では考えていない。給食の提供では大きく分けて2つあり、自校給食と給食センターがある。町長も議会で申し上げているが、例えば防災機能を備えた給食施設や高齢者向けの配食サービスが可能な機能など、多面的な活用について見極めながら進めていきたいと考えている。

検討委員：長沼ではたくさんの野菜が採れるので10年後・20年後に向けて取り組んでいただきたい。

検討委員：一般の駐車場であるが、この面積で足りるのか。行事などでスポーツセンターなどの駐車場を活用することもあるが、現実問題、先生の意見を聞きたい。

検討委員：参観日などは2学年ごとに分けて実施しているが、今の3・4年生は合わせると150名になるので、全部の保護者が来ると足りないと思う。地域の防災施設として活用するとすると、この駐車場は足りないのではないかと思う。

検討委員：駐車場については、今後の検討事項としていく。

事務局：先ほどの教室の広さについての補足となるが、教室は現状64㎡で既存で新校舎では68㎡となる旨説明したが、新しい学校では当別町のように教室前が開放されてワークスペースを活用すれば、80㎡など幅広い学習環境が展開できると考えている。

検討委員：確認であるが、今あるのが64㎡で、新しい校舎が68㎡でワークスペースも使えるということか。

事務局：荷物等は今現在、教室内にあるが、廊下のスペースに収納することができ、実教室スペースができるというものである。

日建設計：先ほどの訂正になるが、とうべつ学園は700名とお伝えしたが400～450名程度となる。

検討委員：確認であるが、とうべつ学園が64㎡なのか。

事務局：教室は現状64㎡で、当別町の事例では68㎡で、新校舎では68㎡となる。

検討委員：現在の中学校のグラウンドの周りにはたくさんの木が生い茂っているので道路から、グラウンドの様子が全く見えない状況である。今後、小学

生の運動会などが外から見えないので、伐採などの予定はないのか。

事務局：長沼町は景観条例もあるので、ベースでは緑地を多く確保したいが、老朽化した木については枝払いなども必要。整備していく中で、間引くなどの伐採も検討していく。

検討委員：私は南幌町で働いているが、南幌町は新しい施設ができたり、移住支援を実施して、全国でも一番移住者の数が増えている。学校づくりも大切であるが、長沼町も移住者を増やしていかなければならないと思う。宅地造成なども必要だと思う。

事務局：人口を増やす施策は大変重要であり、担当部署にご要望としてお伝えする。

検討委員：（維持管理の観点から）高所作業車が通行できるような校舎の管理スペースはあるのか。2階建てなら足場を組む必要はないと思うがスペースが必要になると思う。

事務局：2階建てであれば高所作業車でメンテナンスが可能であり、高所作業車が通行できるスペースを確保していく。

検討委員：先生方の駐車スペースが校舎から遠いが、先生はそれでいいのか。

検討委員：校舎の優先順位であれば低いと思う。

検討委員：優先順位の話があったが、事前ヒアリングで検討したところをこの場で説明してほしい。

検討委員：バスの出し入れの課題があるが、図書館の駐車場にバスが待機できるようになれば、校務センターからバスの確認ができるので北側に配置できる。バスをどう管理していくかを検討していくことになる。

A案・B案の良さであれば、B案のメリットとしては、教職員の意見としては1～4年生が南側に配置され、いいのではと思っている。A案だと3・4年生が通級に近づくので落ち着かなくなるのかなと思う。B案は1～4年生が近くなると関わりすぎて逆にということもあるが、義務教育学校になるということは、各学年が垣根なくオープンになるので1～4年生が交流できるメリットがある。バスの部分はどうかと思うが、校務センターが北側になるのはいいと思う。

検討委員：A・B案として、校務センターと3・4年生教室の位置が大きく関わってくるがそれについて意見があるか。

検討委員：プロポーザルで示された当初の案では1階には1・2年生のみであったが、なぜ変わったのか。

事務局：基本設計の素案を作るにあたり、先生方と協議させていただく中で、大きく1～4年生は1階にした方がよいという意見があって、設計の条件としては、1～4年生1階に下ろすということで設計案を作ってもらっている。

検討委員：2階の特別支援教室に通う子も階段で通学することになるのか。

事務局：特別支援教室付近にはエレベーターを設置している。

検討委員：不登校の児童生徒などはどのように対応するのか。

事務局：学校に来づらい子への対応について教育相談室を設けており、教室の使い方については今後検討していくが、教育相談室でも対応できるように考えている。

検討委員：その場合、ラーニングcommonsなども近くてなかなか、登校しづらいのではないか。

事務局：通級指導教室は別の動線として外からの入り口を考えており、状況によっては通級指導教室で対応するなど考えていきたい。

検討委員：校務センターの前にカウンターがあって、先生としてはやりづらいのではないか。自分が先生だったらちょっとやりづらいと思う。

検討委員：中学校は進路にかかる生徒指導もあるので、オープンにできない部分もある。他の学校ではガラス張りになっている職員室や壁で仕切って生徒の対応をるところもあり、ラーニングcommonsの活用の仕方によると思う。ただ自習スペースや先生も入って教える空間になっていれば、環境は作れるのかなと思う。窓口の在り方は今後、意見で検討していくことになると思う。

検討委員：先生の休憩室はあるのか。図面を見ると無いように思う。

日建設計：校務センターの中に、設けることを想定している。

検討委員：ぜひ職員の方の休憩室をお願いしたい。先生がリフレッシュすることで、児童や生徒の学習にも繋がると思う。先生が長沼の校舎で働きたいと思える施設になってほしい。

検討委員：いろいろなご意見が出ているが、大きく分けてバスのこともあるが校務センターと3・4年生の配置について違いがあり、A・Bについて今後修正可能であるので、どちらをベースとして進めていくか決めていきたい。私の意見では、災害時の利用を考えると家庭科室などから校務センターに近い方がいいと思う。皆さんの意見はどうか。

検討委員：通級教室は学年教室と近くない方がいいと思うので、3・4年の教室を1階に置かなければならないのであればB案がいいと思う。

検討委員：日建設計に聞きたいが、A案のメリットとは何があるか。

日建設計：A案の場合、校務センターからグラウンドが見える。バスプールが見えるというメリットがある。いろいろな視点で考えるとメリットも異なるが、A案のメリットがそれほど重要度として高くないのであれば、教育環境を踏まえるとB案が良いのではと思う。

検討委員：バス乗車のトラブルを考えて校務センターはバス乗り場に近い方がいいのではないか。通級教室が普通教室に近くなることもあるが。

検討委員：スクールバスの位置関係について意見があったが何かあるか。

検討委員：B案はバスが図書館の駐車場に来ればという条件付きでいいと思っている。校務センターからも把握が可能となるが、図書館駐車場側にバスが来ないとなると、単純に遠くなる。カメラで見れたりすることもあるが、ずっと見続けることはできないと思う。
ただ、図面に示されているバスプールがあるとすぐに乗り込めるので、待機中における生徒のトラブルは起こりにくいと思う。

検討委員：バスが校務センターから見えるから先生が付かないということにはならないと思う。今はバスに乗るときに人は付いていないのか。

検討委員：小学校は乗り間違えなどないように、職員を配置している。
人が付くかどうかは、実際に配置してみないとわからない。

検討委員：A案にしてもどれだけ見えるのかと思う。それはメリットと言えるかなと思う。

検討委員：私はコミュニティスクールの委員でもあるので、スクールバスに乗ったことがあるが、子どもたちはちゃんとしているので、付き添いは大丈夫ではないかと思う。むしろ、校務センターよりも3・4年生の教室が気になっていて3・4年生は多感な時期なので、テラスやグラウンドに近い方が学びの環境としてもB案が望ましいと思う。

検討委員：概ねB案で進めていくことでよろしいか。（全員～了）

検討委員：その他にご意見などあるか。

検討委員：車の送迎について、今の小学校の状況も踏まえて最大限の配慮をお願いしたい。

検討委員：制服や校歌などソフト面の協議も必要と考えるが、この検討委員会の役割は施設だけなのか。

事務局：今はハード面を中心にご意見をいただいている。新しい学校は令和9年4月に開校したいと思っている。ソフト面についてはこの会とは別の会で立ち上げて、おそらく同じ参集人数になると思われる。新しい学校の準備委員会で校歌・校章・授業の時間や制服など、先生方中心になると思われるが新たな組織を構成した中で進めていきたいと現在考えている。

検討委員：意見であるが、学校前庭はいらないので来校者の駐車場を広くした方がいいのではないか。30台では足りないと思う。
中学校通りについては廃止した方がいいと思う。意見なので特に回答は不要である。

事務局：中学校通りの廃止はスポーツセンター等の連携なども考えられますが、町道と言っても縛りもある。前庭の活用についてもご意見をいただいた

ので、これから日建設計とも慎重審議していく。

検討委員：給食センターの話になるが、前庭で建設することはできないのか。

事務局：自校給食となると、開校が令和9年に間に合わないことから難しいと考えている。内部では議論しているが今現在、長沼高校への給食提供を継続できなくなる可能性がある。建築基準法になると思うが、工場という扱いになってしまうため、法律上の制限がかかることがある。北海道とも協議が必要であり、時間を要する。多目的な防災も含めた施設として町長は考えていきたいということで、教育委員会としても検討しているところである。

検討委員：通級と特別支援それぞれにプレイルームがどうしても必要であるとの意見が小学校から上がっているので、ぜひ入れていただきたい。

事務局：十分検討した中で盛り込めるようにしていきたい。

○議題（４）次回開催日について

検討委員：次回の日程は都合が悪いので欠席となるが、会議内容の録音をいただくことは可能か。

事務局：承知した。

５ その他

事務局：先日開催されました議会特別委員会における意見についてご紹介させていただく。前回本会議でご意見をいただいた A から D 案について、町民会館を壊さず、図書館南側の民地を購入する B 案が良いのではないかとのご意見があった。また、現在検討されている現長沼中学校敷地ではなく、総合公園に建設した方がよいのではないかとのご意見もあった。今後につきましても学校づくり検討委員会でいただいた意見、また議会特別委員会でいただいたご意見を双方向にお伝えしながら、検討を進めてまいりたい。

委員長：只今の事務局の説明を踏まえて、ご意見・ご質問はあるか。

委員長：ご意見・ご質問がないようなので、今後も引き続き D 案で検討を進めいくことでよいか。（全員～了）

検討委員：町民会館がなくなってしまうということは、葬儀とかは一切できなくなるということか。

事務局：町民会館については担当部署ではないが、新しい学校では葬式はできないことになる。町長が議会でもお答えしており、既存の代替施設等の活用も検討している。長沼町では葬儀は町民会館でやっているが、全国的にはめずらしいところでもある。担当部署では今後、説明も予定しているとのことであり、ご意見として担当部署に申し伝える。

検討委員：今日配布された検討資料を学校の生徒たちに見せたいと思っているが公開してもよいか。廊下に貼り出してこんなことを検討しているなど発信

したい。

事務局：本日は委員の検討資料としてA・B案として配布しているが、本日のご意見などを踏まえて修正し、今後、町民説明会時には1案で示す予定であるため、混乱が生じる可能性があることから2案の公開は避けていただきたい。

検討委員：B案（1案）に決まるのはいつか。

事務局：今、打ち合わせして反映させたB案の修正版を作成して、町民への説明を行いたいと思っている。その資料は公開可能である。

検討委員：了解した。今後、アンケートに協力してくれた子供たちに還流させたいと思っている。